

【JBA会員限定】JBA バイオエンジニアリング研究会 「バイオエンジニアリングにおける国際的人材の養成」小委員会オープンセミナー

私の「グローバル事始」－ 事業開発、M&A/PMI、経営－

本小委員会では、これまで世界のバイオテクノロジー、ライフサイエンス分野をリードする企業や世界規模で急成長している多国籍企業の方々から各自のこれまでのキャリアやその中で得てきた経験やネットワークなどについてご紹介いただきました。その中で日本のバイオ業界における課題やこれから取り入れていきたいことなどについて議論してきました。また、指導的立場に有る方々からもアドバイスをいただいております。今回は、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、製薬業界で25年以上の経験をお持ちのリーダーである榛葉信久先生にご講演いただけることになりましたので、ご案内いたします。

日時：2024年11月1日（金） 16:00～17:30

定員：MS-Teams 120名

**主催：(一財)バイオインダストリー協会 バイオエンジニアリング研究会
「バイオエンジニアリングにおける国際的人材の養成」小委員会**

オーガナイザー：湯本 史明氏（Renzoku Biologics株式会社 共同創業者 COO）

座長：津本 浩平氏（東京大学大学院 工学系研究科バイオエンジニアリング専攻 教授）

講演者：榛葉 信久氏（味の素株式会社 執行理事 R&B企画部長）

榛葉信久博士のビジネスキャリアは、経営、事業運営、新事業開発、生産統括、研究開発等、多岐にわたる。また、約12年間は、米国5拠点（サンフランシスコ、ニュージャージー、シカゴ、ボストン、サンディエゴ）にてビジネスに従事。現在は、Research & Business企画部長として、味の素グループの研究開発と事業開発を牽引している。

1998年に東京大学で薬化学の博士号を取得し、1998年から2009年まで味の素社の研究開発部門に勤務。特にタンパクや酵素を専門とし、イノベーションな製造法開発や製品開発を具現化する。

2009年から2013年までは、東京本社で研究開発企画部のマネージャーを務め、診断サービス事業への参入に成功した。

2013年には米国味の素社の北米イノベーションセンター長へ就任。2017年に米国キャンブルック社の買収を通じてメディカルフード事業への参入を実現。その後、キャンブルック社の上級副社長に着任し、事業拡大を牽引した。2019年からは北米味の素ヘルス&ニュートリション社のCTO兼上級副社長、2021年より米国味の素バイオファーマサービス社のCEO兼プレジデントを務めた。

一方で、研究業績として、論文約50報（筆頭著書10報含）を発表したり、北陸先端科学技術大学院大学や横浜市立大学で客員准教授を兼任するなど、サイエンスへの造詣も深い。

今回の榛葉先生のご講演から、これからの日本のバイオ産業を支えていく国際的な人材の育成に向けて多くのヒントがいただけるものと思います。多くの皆様にご参加いただければと願っております。

MS-Teams参加：JBAホームページよりお申し込みください。



締切：10月30日(水) お問い合わせ：(一財)バイオインダストリー協会（担当：橋本、岸本、矢田）